



石川打越地区

石川町、打越



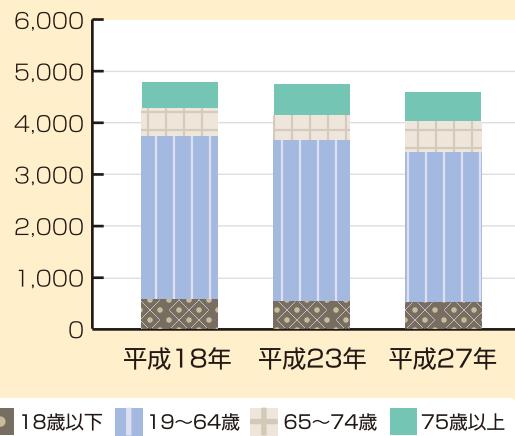
地区の現状 この地区はこんなまち

住宅地、商業地として発展してきた地区。通りを歩けば親しみやすい下町風情が感じられます。地域の結びつきが強く、地域活動が活発に行われています。地蔵坂、牛坂、遊行坂など、急な勾配が多く坂のまち的一面もあります。

<地区内人口の推移> (単位:人) (各年とも3月末現在)

	平成18年	平成23年	平成27年
18歳以下	570	522	503
19~64歳	3,156	3,134	2,910
65~74歳	543	472	595
75歳以上	510	604	581
合計	4,779	4,732	4,589

総人口は減少傾向にあります。ここ10年で65歳未満の人口が減り、65歳以上の人口が増加しています。高齢化率は22.0%から25.6%になり、中区平均を上回っています。



下町風情のあるまち



夏祭り

もちつき大会

この地区の
良いところ

- ◆ 地区の行事や情報が載ったイベントカレンダーを作成し、住民の交流の機会を増やしている。
 - ◆ バス旅行(年2回)、観劇会を実施。ふれあいサロンや食事会も定期的に開催し、手作り弁当の配食等を通して、地域の高齢者の元気づくりと見守りができる。
 - ◆ 古くからの住民も多く町内同士の関係性がよい。
 - ◆ 住民の防災意識が高く、防災訓練に力を入れている。

石川打越地区イベントカレンダー

イベントカレンダーには、初めての人にも内容が伝わり、気軽に参加してもらえるように、活動内容や参加した方のコメントを載せています！



食事会

栄養満点！手作りのおいしい食事をみんなでいただきます。

ふれあいサロン

歌や体操、健康のお話など、多彩な内容で開催されている“ふれあいサロン”。みんなと顔を合わせおしゃべりできることが楽しみです♪



住んでいる人みんなが、「幸せだなあ」と感じられるまち

今後に
向けて

- ◆ 住民間で世代を超えたつながりをもち、安心して暮らせる元気なまちにしたい。
- ◆ 小中学校が他区にあり、学校を中心としたこどもたちの姿が見えづらいため、学校やこどもたちと関わる機会を増やしたい。
- ◆ こどもの数が少なく子ども会がない町内会があるため、地域全体でこどもを育てる体制をつくりたい。
- ◆ 新しい世代・多国籍の住民や商店街で働く人も増え、共存・協力していくことが必要。
- ◆ 山坂が多く、高齢者が集まりや外に出ることが大変。住民が気軽に集まれる場所が増えると良い。
- ◆ 緊急時や災害時の安否確認、支援体制について住民同士で検討していく必要がある。
- ◆ ごみ出しのルールが守られていないことがある。ルールやマナーを守れるまちにしたい。

目標と具体的な取組

石川打越地区の“えん”結び

- ◆ イベントカレンダーを充実し、情報を伝えることで、より多くの人がまちのイベントや活動に参加できるようにしよう。
- ◆ 民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動員をはじめとし、まち全体で連携しながら、高齢者の見守り活動を継続していこう。
- ◆ 防災・減災の意識を高め、身近なできることから取り組んでいこう。
 - 過去の震災からこのまちでどんな対策が必要か学ぼう。
 - 防災フェスタや防災訓練を工夫しながら継続していこう。
 - 防災チェックリストや防災マップをつくろう。
- ◆ まち全体でこどもを育てよう!
 - 各町内会で連携し、こどもに関する窓口をつくろう。
 - こどもたちの意見も取り入れながら、こどもと大人が一緒にまちを知り、交流できる機会をつくろう。
 - こどもと直接関わる年代の人が発言できる場や、機会を増やそう。
 - 地域と学校が顔見知りになろう。
- ◆ バス旅行、もちつき大会や夏祭りなど世代間交流が生まれるイベントや活動を続けていこう。
- ◆ 誰もがふらっと立ち寄れる交流の場づくりに取り組もう。

石川打越地区の元気！

- ◆ さわやかスポーツ大会やふれあいサロン、ともえ会や老人クラブの活動、坂を活かしたスローピング等の各町内会の活動など、身近な場所で健康づくりを継続していこう。
- ◆ まちの美化が進められ、すこやかなまちになるように、みんなで意識をもって取組を進めよう。
 - 地域で花いっぱい運動を展開していこう。
 - 行政と連携し、ごみ問題の解決方法を一緒に考えて行こう。
- ◆ 地域全体でまちを活性化させていこう。
 - 納涼フェスタ、もちつき大会や夏祭りなど、地域全体で地域の活動を盛り上げていこう。
 - 地元で暮らす住民の地域活動やまちへの思いを大切に、情報交換・共有をしながら、商店街の活性化や中村川を活用した取組を進めていこう。



石川打越地区では、第3期計画の策定にあたり、具体的な計画を立てるため、また、より多くの人に計画に関わってもらうため、石川打越地区計画推進会議の中に、「まちの防災分科会」、「まちの子育て分科会」、「まちの活性化分科会」、「まちの生活課題分科会」の4つの分科会を立ち上げて、計画を策定しました。

今後も計画を具体化していくために、分科会を部会に改め、5か年の年次計画を策定していきます。

